


安芸高田市公共施設等総合管理計画 個別計画

(1) 公共施設 ⑤庁舎（本庁舎）編

令和元年 10 月

 広島県安芸高田市

【担当課】

危機管理課 財産管理課 政策企画課 環境生活課 人権多文化共生推進課
社会福祉課 子育て支援課 高齢者福祉課 保健医療課 地域営農課 農林水
産課 商工観光課 管理課 住宅政策課 建設課 上下水道課 消防総務課
教育総務課 学校教育課 生涯学習課

目 次

1 個別計画策定の趣旨及び概要	1
(1) 策定の趣旨	1
(2) 概要	1
2 各種分析結果	2
(1) 本庁電気代の推移状況	2
(2) 本庁の電話代・水道料・下水道料の推移状況	2
(3) 本庁職員の人数の推移	3
(4) 管理コスト推移	3
3 維持管理について	4
(1) 対象施設	4
(2) 計画期間	5
(3) 点検・診断方法及び結果	5
ア. 建築関係	5
イ. 設備関係	7
(4) 維持管理の方針	9
ア. 維持管理方法	9
イ. 維持管理の優先順位	9
(5) 実施時期	9
(6) 対策費用	9
4 計画の見直し期間	9
5 施設資料	10
別紙1	11
別紙2	19

1 個別計画策定の趣旨及び概要

(1) 策定の趣旨

安芸高田市が有している公共建築物やインフラ資産は、今後において大量に更新時期を迎えます。厳しい財政状況や人口減少等による利用需要の変化等がある中、公共建築物やインフラ資産の長期的視点による更新統廃合等を計画的に実施し、財政負担の平準化と施設の最適な配置を行う必要があります。安芸高田市は第2次総合計画及び第3次行政改革大綱と連動した施設面の基本的取組を示すため、平成26年度に「安芸高田市公共施設等総合管理計画（以下、「管理計画」という。）」を策定しました。

本庁舎の取り扱いについては、存続施設であるため平成30年度に建物診断を行い長期修繕計画を作成し、それを基に個別計画を策定しました。

(2) 概要

- 本庁舎については、行政の本部機能として、長期修繕計画にのっとり、修繕改修を行いながら長寿命化を図ります。
- 本計画の実施期間は、長期修繕計画に合わせ、令和20年（平成51年）までとします。
- 今後の計画推進については、行財政改革の事項として取り組むことから本市行財政改革実施組織においてその進行管理を行うとともに、計画の改定や目標の見直しを行います。

計画名	H26	→	R1	→	R20
管理計画	➡				
個別計画			➡		
【行革】進行管理			➡		

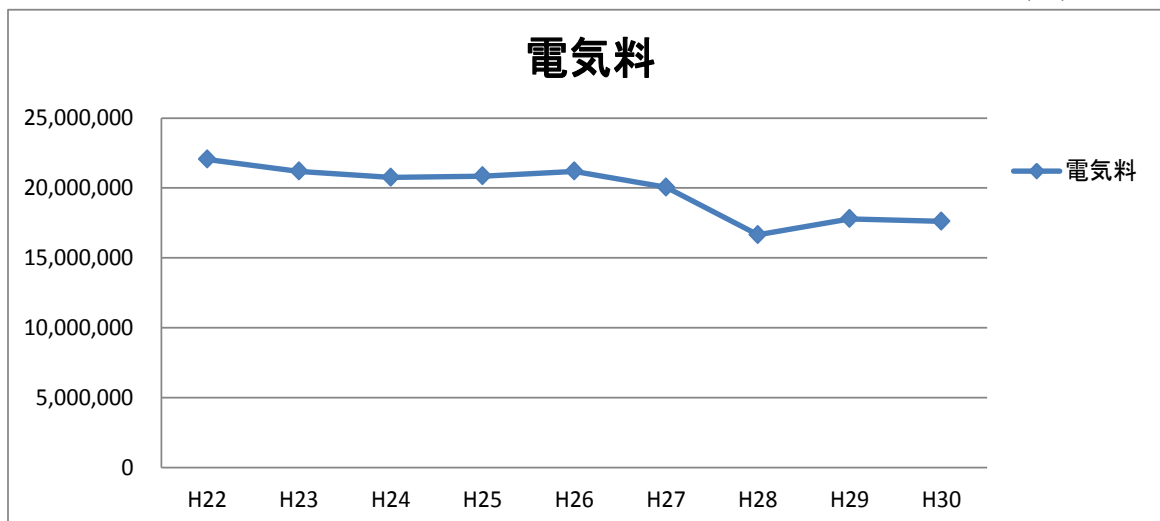
2 各種分析結果

(1) 本庁電気代の推移状況

本庁電気代の推移を表したものです。

※クリスタルアーチョも含む。

(円)

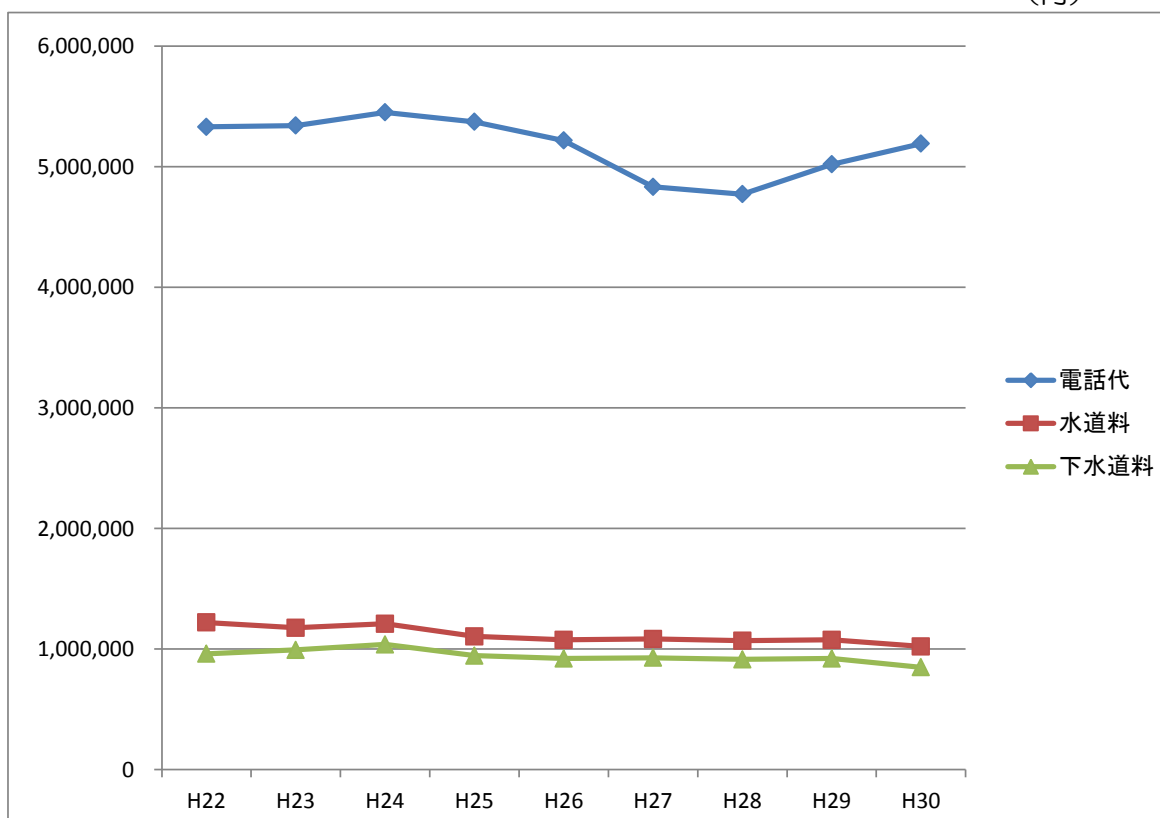


(2) 本庁の電話代・水道料・下水道料の推移状況

本庁の電話代・水道料・下水道料の推移を表したものです。

※クリスタルアーチョも含む。

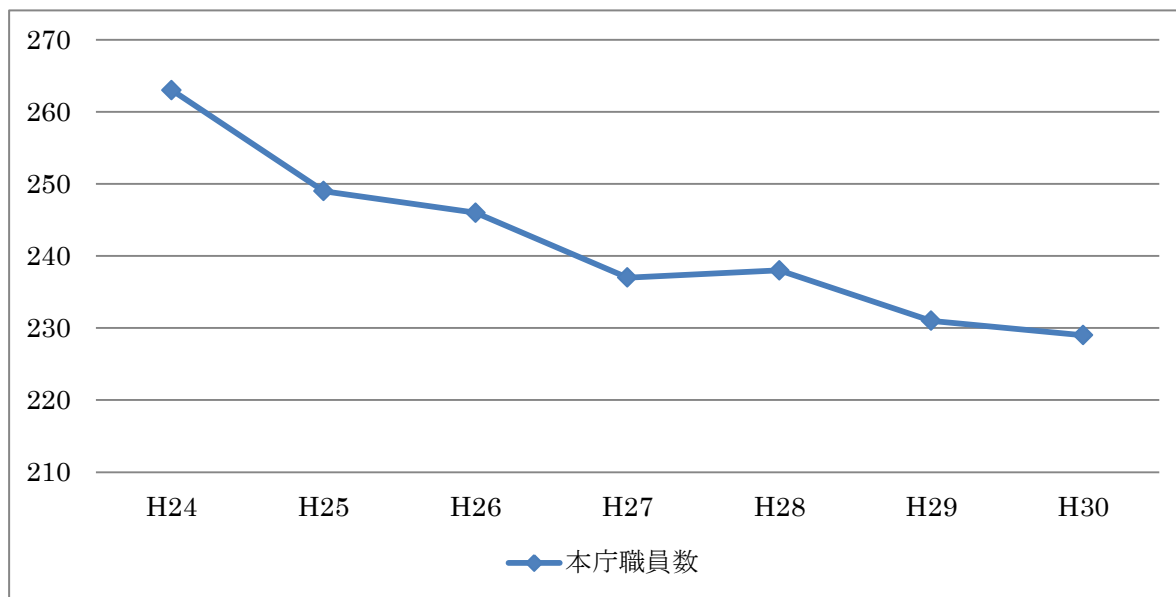
(円)



(3) 本庁職員の人数の推移

本庁職員の配置人数の推移を表したものです。

(人)

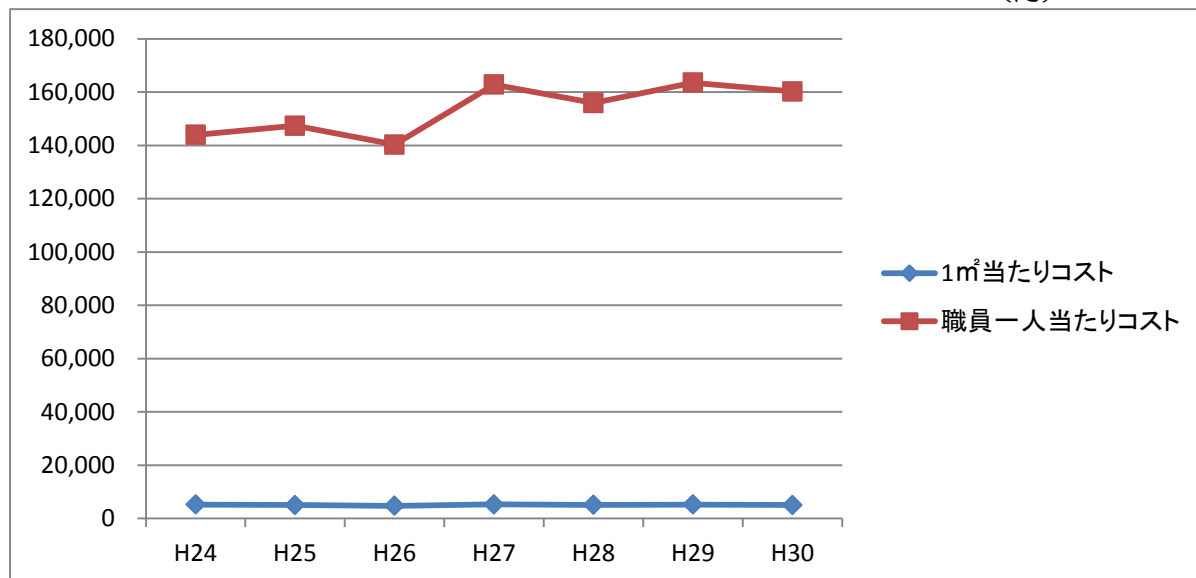


(4) 管理コスト推移

管理運営経費（建物保守経費・光熱水費・通信料）と総延床面積から庁舎 1 m²当たりのコストと職員一人当たりのコストの推移を表したものです。

※管理経費の中には、クリスタルアーchioの光熱水費・建物保守経費も含む。

(円)



3 維持管理について

(1) 対象施設

No.	施設名	建築年度	構造※1	経過年数(年)	耐用年数(年)※2	敷地面積(m ²)	建築面積(m ²)	延床面積(m ²)	収入(千円)※3	支出(千円)※3	参考(千円)※4	
											減価償却費	残存価格
1-1	本庁(第1庁舎)	S56	RC造 一部S造	38	50	8,687.07	1,157.82	2,535.34	112	36,696	346,835	456,361
1-2	本庁(第2庁舎)	H19	SRC造	12	50		2,275.13	4,592.31			259,006	820,187
合計						8,687.07	3,432.95	7,127.65	112	36,696		

※1 S造：鉄骨造、RC造：鉄筋コンクリート造、SRC造：鉄骨鉄筋コンクリート造

※2 耐用年数については、財務省令「減価償却資産の耐用年数等に関する省令(昭和43年3月31日大蔵省令第15号)」を参考に記載したもので、使用可能期間を示すものではありません。

※3 平成30年度決算額(但し、支出の額には、クリスタルアーショ分の電気料・水道代・下水道及び施設保守管理委託料も含む。)

※4 資産評価については、総務省「資産評価及び固定資産台帳整備の手引き」により算出したものです。

	第1庁舎		第2庁舎		
建物概要	屋根	瓦葺(上部)、鋼板(下部)		屋根 フッソ樹脂鋼板(議場上部・屋根裏書庫上部) 塩ビ樹脂系防水シート(4FL屋上屋根)	
	庇裏	コンクリート打放し		外壁 磁器質タイル(二丁掛け&小口)、アルミルーバー、アルミスパンドレル、アルミパネル、コンクリート打放し(フッソ樹脂クリアー塗装)	
	外壁	磁器質タイル(二丁掛け&小口)		建具 スチール・アルミ・ステンレス戸	
	建具	スチール・アルミ		外部床 コンクリートコテ押え(犬走り・洗車場)、アスファルト舗装(歩道) 真空コンクリート(車路スロープ)	
				玄関 軒天：アルミスパンドレル、壁：磁器質タイル(二丁掛け&小口) 床：ノンスリップ磁器質タイル100角・玄関マット・長尺塩ビシート	
設備概要	電気設備	受電方式	3相3線式 6.6kV CB形 設備容量1750KVA		
		照明設備	蛍光灯(直管形、コンパクト型)、白熱灯、ハロゲン灯、LED他		
		拡声設備	非常・業務放送アンプ、天井埋込・壁取付スピーカー他		
		自動火災報知設備	複合盤、表示機、中継器盤、各種感知器等		
	空調・換気設備	空調設備	EHP マルチエアコン、パッケージエアコン、ファンコイル、エアハンドリングユニット		
		換気設備	送風機、換気扇、有圧扇		
	給排水衛生設備	衛生設備	便所衛生器具		
		給水設備	受水槽		
衛生設備		排水桝			

(2) 計画期間

建物の安全・快適を維持し資産価値を高めていく為には、「点検」・「整備」・「診断」・「修繕」というサイクルを計画的に実施していくことが必要です。特に、建物診断は、建築・設備の劣化状態を調査・診断し、修繕・改修工事の必要な時期と方法及び範囲を把握でき、建物の的確な計画保全を行う上で重要な役割を果たします。

第1庁舎は、竣工後、約38年が経過しています。この時期に建築の診断を行うことで劣化の程度を詳細に把握し、それに基づいた修繕計画を策定することによりライフサイクルコストの低減を計り、目標使用年数を80年に向上する事を目的としています。

一定の年数毎に計画的に行う修繕でかつ、相当の費用を要する項目については、平成31年度を開始時期とし、以降20年間（竣工後起算58年）を対象期間として作成しています。小規模修繕など、日常のメンテナンス項目は除外していません。また、対象期間後に新たに修繕が発生する場合や、耐用年数の考え方により当計画に記載されていない項目もあります。

(3) 点検・診断方法及び結果

ア. 建築関係

診断方法については、目視、打診、触診による調査。

調査期間：平成30年5月16日～17日

調査機器：パルハンマー・双眼鏡・スケール

・診断結果

第1庁舎

診断結果の総括

当該建築物は1981年（昭和56年）に竣工し、約38年が経過しています。平成29年度に耐震化工事を実施し、トイレの改修・空調機器の更新を行いました。今後においては、躯体保護、美観性の保持、安全性の観点からも外壁改修工事の計画立案が必要な時期であると考えます。

建築物の大規模修繕は、一般的に10年～15年前後で実施されるのが通常ですが、本建物は適切な維持管理が実施されており、今のところ外壁や屋上といった建築物に係わる部分においての緊急性のある大規模な修繕項目は認められません。

① 外壁関係

外壁タイルの1階壁面に小規模な浮き・ひび割れが散見されます。今回調査出来なかった高所タイル面については、1階同様の劣化が想定さ

れます。シーリングについては、外部建具廻りのシーリングに被着面からの剥離・減耗が認められます。

現状、緊急性はありませんが、躯体保護、美観性の保持、安全性の確保の観点からも、計画的な外壁改修工事の実施が必要です。

② 鉄部塗装関係

本建物の鉄部関係においては、著しい錆・腐食といった劣化症状は認められませんが、雨掛かり部といった気象条件の厳しい箇所については、3年程度で微細な錆が出始め、年々拡大していくのが一般的です。放置すると腐食が進行し、穴があいたり朽ちたりするため、早めの塗替えを行います。

③ 防水関係

屋上屋根の日本瓦葺は近視での目視確認不可であったため詳細不明。低部屋根の鋼板仕上げ部においては、外周各面の樋（鋼板箱樋）に錆・腐食が見受けられ、穴あき欠損等による水漏れ（室内への漏水ではない）が多数認められました。今後は経過観察の上、計画的な修繕を行います。

④ 内装関係

内装関係は部材性能、使用頻度、美観的要求度合によって耐用年数に差がでる項目です。壁紙クロスや床仕上げについては、経年相応の汚れ・一部剥がれが見受けられる状態です。今後は経過観察の上、計画的な修繕を行います。

⑤ 建具関係

建具関係も使用頻度、美観的要素の要求度合いによって、耐用年数にも差が出る項目です。現状での不具合は認められません。今後は経過観察の上、計画的な修繕を行います。

第2 庁舎

診断結果の総括

当該建築物は2007年（平成19年）に竣工し、12年が経過しています。現在に至る間、大規模な修繕は行われておりません。躯体保護、美観性の保持、安全性の観点からも外壁改修工事の長期修繕計画立案が必要な時期であると考えます。

建築物の大規模修繕は、一般的に10年～15年前後で実施されるのが通常ですが、本建物は適切な維持管理を実施しており、今のところ外壁や屋上といった建築物に係わる部分においての緊急性のある大規模な修繕項目は認められません。しかし、外構南東側敷地内歩道のアスファルトに歩行上支障のあるひび割れ・不陸が確認されたため、当該部位については、

建物長寿命化の観点から早急な部分修繕が必要です。

① 外壁関係

外壁タイルに小規模な浮きが散見されます。また、屋上廻りの外壁コンクリート面や屋上パラペットの立上り面に一部ひび割れが認められます。シーリングについては、表面ひび割れが認められますが、全体的には経年相応の劣化状況です。

現状、緊急性は感じませんが、躯体保護、美観性の保持、安全性の確保の観点からも、計画的な外壁改修工事を行います。

② 鉄部塗装関係

本建物の鉄部関係においては、著しい錆・腐食といった劣化症状は認められませんでした。雨掛かり部といった気象条件の厳しい箇所については、3年程度で微細な錆が出始め、年々拡大していくのが一般的です。放置すると腐食が進行し、穴があいたり朽ちたりするので、結果的に多大な費用がかかるため、早めの塗替えを行います。

③ 防水関係

屋上防水は、鋼板屋根と塩ビシート防水で施工されていますが、現状では不具合は認められません。今後は、経過観察の上、計画的に修繕を行います。

④ 内装関係

内装関係は部材性能、使用頻度、美観的要求度合によって耐用年数に差がでる項目です。壁紙クロスや床仕上げについては、経年相応の汚れ・一部剥がれが見受けられる状態です。今後は経過観察の上、計画的に修繕を行います。

⑤ 建具関係

建具関係は使用頻度、美観的要素の要求度合いによって、耐用年数にも差が出る項目です。現状での不具合は認められず、今後は経過観察の上、計画的に修繕を行います。

⑥ 外構関係

総括で示した歩道のアスファルトに不具合が認められ、今後は経過観察の上、計画的に修繕を行います。

イ. 設備関係

調査方法は、目視（ウォークスルー）による簡易劣化診断を実施し、評価については、下記評価基準にのっとり設備ごとに評価しました。

記載の金額は、中長期計画を立案するうえで目安とするために現時点の各種単価を参考に概算にて算出した値であり、年度ごとに変化する単価には対

応しておりませんので、実際の工事費とは異なります。実施に当たっては、別途見積が必要になります。

(調査期間：平成 30 年 7 月 6 日)

■評価基準

S	<p>応急処置を含め、直ちに修繕を要す</p> <p>機器の劣化が進行しており、機能面、安全面等で運営に悪影響を及ぼす可能性があります。機器の修繕若しくは更新が必須です。</p>
A	<p>緊急性はないが早急な改修計画を要す</p> <p>当面はそのまま使用を続けることは可能ですが、機器は劣化しており、更新目安に近づいております。早急に改修計画を立て、修繕または更新をご検討ください。</p>
B	<p>現状では大きな問題はないが継続監視が必要</p> <p>機器の更新計画を早急に練る必要はございませんが、おおよその更新目安を御認識頂く必要がございます。</p>
C	<p>問題なし</p> <p>機器の劣化は認められず、安全にご使用可能です。中長期修繕計画表を御参照のうえ、機器の更新目安時期を御確認ください。</p>

※ワークスルーでの外観診断の為、上記評価は推定であり、評価と状態が一致しない場合があります。

・診断結果

① 電気設備

電気設備は、照明設備をメインに、受変電設備、弱電設備等の診断を行いました。施設に設置されている照明器具は全体的に更新目安を約半数経過した状態で、状態は良好です。

一方で省エネルギー着眼すると、竣工当時の主流であった蛍光灯は、現在普及が加速している LED に比べると消費電力が大きいことが挙げられます。施設全体には多くの照明器具が設置されており、これらを LED に更新すれば大幅な消費電力削減が可能です。これは CO2 排出抑制や電気料金の削減に直結しますので、LED 器具への更新を検討します。

また、受変電設備の一部機器や弱電機器は更新目安が近づいているものが見受けられました。破損してからの更新対応は、停電時間の長期化等を招く恐れがありますので、予防保全のために計画的に更新を行います。

② 空調換気設備

今回は、空調熱源、EHP 空調機、換気機器を中心に診断を行いました。建築から 11 年が経過するなか、メンテナンスを行いながら使用しており、急を要する修繕箇所は見受けられませんでした。

全体として推奨更新年の半分を経過している機器が多く、経年劣化によっ

て効率の低下とともに事故や火災などの危険性が高くなります。中長期計画を立て、計画的に更新を行います。

③ 給排水衛生設備

今回は衛生器具、受水槽を中心に診断を行いました。

建築から11年が経過するなか、清掃もこまめに行いながら使用しています。器具の機能部は故障なども多いことから継続的なメンテナンスの実施により修理・修繕しながら使用していきます。

受水槽など屋外設置設備については、劣化の進んでいる物も見受けられます。中長期計画を立て、計画的に更新を行います。

(4) 維持管理の方針

ア. 維持管理方法

建物の安全性・快適性を維持し資産価値を高めていくためには、「点検」・「整備」・「診断」・「修繕」というサイクルを計画的に実施します。また、予算の動向によっては、定期的に計画の見直しを行います。

イ. 維持管理の優先順位

本施設は、本庁舎機能を有し、行政機能の中心的な役割を果たすものであり、最優先施設として位置づけ、維持管理を図り、施設の長寿命化を図っていきます。

推奨更新年数に対して更新年度が前後にずれているものは、同一年度に更新が集中しないよう、優先度の高いものを早期に更新します。

(5) 実施時期

別紙1による

(6) 対策費用

別紙2による

4 計画の見直し期間

長期修繕計画の実施時期については、管理実績を基にした目安であり、計画案に沿って実施するかは、その時点で改めて調査・診断を行って実施することになり、診断結果によっては、持ち越すこともあります。また、改修に係る予算も確定されたものでないため、計画見直しについては、5年を周期に見直しを行います。

5 施設資料

安芸高田市本庁第1・2庁舎 長期修繕計画報告書：平成31年3月作成

計画年度 西暦 令和 築年										1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20				
										2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035	2036	2037	2038				
										1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20				
										38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57				
修繕項目	仕様	周期 (年)	修繕率 (%)	数量	単位	単価 (円)	直工費 (千円)	諸経費 (千円)	合計金額 (千円)																								
3 内 装 改 修																																	
(天井)																																	
機械室	[47]	グラスウール吸音板 t50 張り替え	15	100	38.4	m ²	2,500	96	24	120																							
事務室・ホール・待合ロビー等	[48]	吸音断熱材 t12 部分修繕(全体の10%張り替え)	15	100	42.3	m ²	1,500	63	16	79																							
宿直室・介護認定審査室・階段等	[49]	吸音断熱材 t12.5 部分修繕(全体の10%張り替え)	15	100	16.4	m ²	1,500	25	6	31																							
廊下・宿直和室等	[50]	無機質不燃クロス張り替え	15	100	75.9	m ²	1,600	121	30	152																							
事務室・ホール・各室等	[51]	吸音断熱材 t12 部分修繕(全体の10%張り替え)	15	100	20.1	m ²	1,500	30	8	38																							
廊下・会議室211・印刷室等	[52]	吸音断熱材 t12.5 部分修繕(全体の10%張り替え)	15	100	15.4	m ²	1,500	23	6	29																							
農業委員会事務局	[53]	無機質不燃クロス張り替え	15	100	80.3	m ²	1,600	128	32	161																							
事務室総務・ホール等	[54]	吸音断熱材 t12 部分修繕(全体の10%張り替え)	15	100	10.0	m ²	1,500	15	4	19																							
廊下・会議室311・各室等	[55]	吸音断熱材 t12.5 部分修繕(全体の10%張り替え)	15	100	40.0	m ²	1,500	60	15	75																							
湯沸室	[56]	ケイカル面 VP塗り	15	100	18.6	m ²	1,200	22	6	28																							
男子便所・女子便所・多目的便所	[57]	吸音断熱材 t12.5 部分修繕(全体の10%張り替え)	15	100	9.5	m ²	1,500	14	4	18																							
小 計									22,173	5,543	27,717	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
4 防 水 改 修																																	
EV屋根 防水更新	[58]	防水シート敷設 防水工事(平屋根・立上り)	12	100	15.6	m ²	8,000	125	31	156																							
同上箇所	[59]	同上立上り金属瓦木撤去・新設	12	100	11.7	m	7,000	82	20	102																							
EVホール屋根 防水更新	[60]	防水シート敷設(平屋根・立上り)	24	100	24.6	m ²	8,000	197	49	246																							
3FL屋根 防水更新	[61]	防水シート敷設(平屋根・立上り)	24	100	62.6	m ²	8,000	501	125	626																							
屋根取合い・金物取合いシーリング	[62]	既存撤去の上、変性シリコンシーリング	12	100	166.6	m	1,000	167	42	208																							
屋根仕舞シーリング	[63]	既存撤去の上、変性シリコンシーリング	12	100	80.0	m	1,000	80	20	100																							
小 計									1,151	288	1,439	0	0	1,439	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
5 鉄 部 塗 装 改 修																																	
(外部)																																	
鋼製建具	[64]	ケレン、錆び処理の上、アクリル樹脂塗料	6	100	20.1	m ²	1,500	30	8	38																							
鋼板屋根	[65]	ケレン、錆び処理の上、アクリル樹脂塗料	12	100	475.0	m ²	3,500	1,663	416	2,078																							
縦樋・養生管	[66]	ケレン、錆び処理の上、アクリル樹脂塗料	12	100	540.0	m	1,500	810	203	1,013																							
(内部)																																	
階段上裏	[67]	水性シリコン塗料(簡易足場共)	12	100	81.0	m ²	4,000	324	81	405																							
木建 スチール柱	[68]	糸=200以下 SOP塗	12	100	189.0	m	800	151	38	189																							
額縁・開口柱 木部	[69]	糸=200以下 SOP塗	12	100	579.4	m	800	464	116	579																							
鋼製建具 木製建具	[70]	ケレン、SOP塗	12	100	205.8	m ²	1,200	247	62	309																							
階段手すり	[71]	ケレン、SOP塗 H900、H1100	12	100	45.0	m	2,000	90	23	113																							
小 計									3,778	945	4,723	0	0	3,128	0	0	0	0	0	0	1,632	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6 建 具 改 修																																	
鉄扉 付属金物交換	[72]	部品の交換	10	50	23	箇所	25,000	288	72	359																							
アルミ建具 付属金物交換	[73]	部品の交換	10	50	82	箇所	20,000	820	205	1,025																							
ステンレス製建具 付属金物交換	[74]	部品の交換	10	100	1	箇所	30,000	30	8	38																							
防煙垂れ壁	[75]	電動式開閉装置の交換と調整、ガラスの取替え	10	100	1	式	1,500,000	1,500	375	1,875																							
トイレブース	[76]	金物交換	10	50	11	箇所	5,000	28	7	34																							
EV扉・柱	[77]	ダイノック化粧シート貼り	10	100	3	箇所	50,000	150	38	188																							
小 計									2,815	704	3,519	0	0	0	0	0	0	0	3,331	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
7 そ の 他 工 事																																	
カーテン・ブラインド取替え	[78]	既存撤去新設	15	100	78	箇所	28,000	2,184	546	2,730																							
縦樋支持金物取替え	[79]	既存撤去・SUS製新設	-	100	180	箇所	2,000	360	90	450																							
上部瓦葺屋根	[80]	全面詳細調査の上・部分補修	12	100	990	m ²	3,000	2,970	743	3,713																							
低部鋼板屋根	[81]	全面詳細調査の上・部分補修	12	100	475	m ²	4,500	2,138	534	2,672																							
低部鋼板屋根軒樋	[82]	既存撤去・同等品新設(付属金物共)	-	100	140	m	45,000	6,300	1,575	7,875																							
小 計									13,952	3,488	17,439	0	0	14,709	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
年度計画修繕費																																	
建築修繕費累計																																	

	計画年度									1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
	西 暦									2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035	2036	2037	2038
	令 和									1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
	築 年									12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
修繕項目	仕様	周期 (年)	修繕率 (%)	数量	単位	単価 (円)	直工費 (千円)	諸経費 (千円)	合計金額 (千円)																				
6 建 具 改 修																													
鉄扉 付属金物交換 [85]	部品の交換	10	50	106	箇所	25,000	1,325	331	1,656					1,656															
アルミ建具 付属金物交換 [86]	部品の交換	10	50	74	箇所	20,000	740	185	925					925															
ステンレス製建具 付属金物交換 [87]	部品の交換	10	100	1	箇所	30,000	30	8	38					38															
鋼製シャッター [88]	駆動装置の交換と調整	10	100	1	箇所	50,000	50	13	63					63															
トイレブース [89]	金物交換	10	50	10	箇所	5,000	25	6	31					31															
小 計							2,170	543	2,713	0	0	0	0	2,713	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,713	0	0	0	0	0
7 そ の 他 工 事																													
駐車場アスファルト補修 [90]	既設撤去の上、アスファルト舗装	30	100	263	m ²	9,450	2,485	621	3,107					263															263
スロープ・車路ライン補修 [91]	既存撤去の上、白線ライン着	15	100	60	m	1,000	60	15	75					60															60
駐車場ライン補修 [92]	既存撤去の上、黄線ライン着	30	100	30	台	3,000	90	23	113					30															30
側溝補修 [93]	部分モルタル補修	30	50	76	m	500	19	5	24					76															76
カーテン・ブラインド取替え [94]	既存撤去新設	20	50	78	箇所	28,000	1,092	273	1,365					1,365															1,365
小 計							3,746	937	4,683	0	0	0	0	1,793	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,365	0	0	0	0	428
	計画年度									1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
	西 暦									2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035	2036	2037	2038
	令 和									1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
	築 年									12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
年 度 計 画 修 繕 費										0	0	20,815	0	53,363	0	0	0	38	0	0	0	0	0	6,081	18,811	0	0	0	49,286
建 築 修 繕 費 累 計										0	0	20,815	20,815	74,178	74,178	74,178	74,178	74,216	74,216	74,216	74,216	74,216	74,216	80,296	99,108	99,108	99,108	99,108	148,394

設備：第1庁舎長期修繕計画

単位：万円)

評価	写真 NO.	場所	修繕または更新機器	経過年数	推奨更新年数	基準年	11年目	12年目	13年目	14年目	15年目	16年目	17年目	18年目	19年目	20年目	21年目	22年目	23年目	24年目	25年目	26年目	27年目	28年目	29年目	30年目		
						2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年	2027年	2028年	2029年	2030年	2031年	2032年	2033年	2034年	2035年	2036年	2037年	2038年	2039年		
電気・空調・給排水衛生設備	C	電気設備-1	第1庁舎	照明器具	1年	20年										更新 1600												
	C	電気設備-2	第1庁舎各階	照明盤	1年	25年															更新 190							
	C	電気設備-3	第1庁舎	自動火災報知設備	1年	12年			更新 180											更新 180								
	C	電気設備-4	第1庁舎	電灯コンセント	1年	25年															更新 150							
	C	空調設備-1	第1庁舎2018更新部	空調機器	1年	15年					更新 3200																更新 3200	
	B	空調設備-2	第1庁舎2018更新部以外	空調機器	5年	15年		更新 1100														更新 1100						
	C	空調設備-3	第1庁舎	換気機器	1年	20年											更新 200											
	B	給排水衛生-1	第1庁舎便所	衛生器具	15年	30年		部品交換 20										部品交換 20										
【年別予防保全費用】						0万円	1120万円	180万円	0万円	0万円	3200万円	0万円	0万円	0万円	0万円	1800万円	20万円	0万円	0万円	180万円	340万円	1100万円	0万円	0万円	0万円	3200万円		

設備：第2庁舎長期修繕計画：電気設備

単位：万円)

評価	写真 NO.	場所	修繕または更新機器	経過年数	推奨更新年数	基準年	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	10年目	11年目	12年目	13年目	14年目	15年目	16年目	17年目	18年目	19年目	20年目	
						2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年	2027年	2028年	2029年	2030年	2031年	2032年	2033年	2034年	2035年	2036年	2037年	2038年	2039年	
電気設備	B	電気設備-1	第2庁舎3階議長室、副議長室	照明器具	11年	20年									更新 35												
	B	電気設備-2	第2庁舎3階談話室1、談話室2	照明器具	11年	20年									更新 12												
	B	電気設備-3	第2庁舎3階第1～第3委員会室	照明器具	11年	20年									更新 95												
	B	電気設備-4	第2庁舎3階議場	照明器具	11年	20年										更新 330											
	B	電気設備-5	第2庁舎3階議場傍聴室前スロープ	照明器具	11年	20年										更新 40											
	A	電気設備-6	第2庁舎3階議会事務局	議場設備 機器収納架	11年	12年			更新 550												更新 550						
	B	電気設備-7	第2庁舎3階全員協議会室	照明器具	11年	20年									更新 90												
	B	電気設備-8	第2庁舎3階会派室	照明器具	11年	20年									更新 30												

単位：万円)

評価	写真 NO.	場所	修繕または更新機器	経過年数	推奨更新年数	基準年	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	10年目	11年目	12年目	13年目	14年目	15年目	16年目	17年目	18年目	19年目	20年目		
						2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年	2027年	2028年	2029年	2030年	2031年	2032年	2033年	2034年	2035年	2036年	2037年	2038年	2039年		
電気設備	B	電気設備-9	第2庁舎3階 議会事務局	照明器具	11年	20年									更新 32													
	B	電気設備-10	第2庁舎2階 市長室	照明器具	11年	20年									更新 40													
	B	電気設備-11	第2庁舎2階 副市長室、 第2応接室	照明器具	11年	20年									更新 53													
	B	電気設備-12	第2庁舎2階 執務室、廊下、 EVホール	照明器具	11年	20年									更新 320													
	B	電気設備-13	第2庁舎2階 応接室	照明器具	11年	20年									更新 65													
	A	電気設備-14	第2庁舎2階 執務室	副監視盤（非常放送設備）	11年	12年		更新 180												更新 180								
	B	電気設備-15	第2庁舎1階 執務室、廊下、 EVホール	照明器具	11年	20年										更新 340												
	B	電気設備-16	第2庁舎1階 書庫1,2	照明器具	11年	20年										更新 18												
	B	電気設備-17	第2庁舎1階 WC (男女、多目)	照明器具	11年	20年										更新 33												
	B	電気設備-18	第2庁舎1階 設計・印刷室	照明器具	11年	20年										更新 18												
	B	電気設備-19	第2庁舎B1階 駐車場、倉庫、 EVホール	照明器具	11年	20年										更新 150												
	B	電気設備-20	第2庁舎 階段	階段通路誘導灯	11年	20年	電池交換 25									更新 185						電池交換 25						
	B	電気設備-21	第2庁舎 共通	誘導灯	11年	20年	電池交換 35									更新 130						電池交換 35						
B	電気設備-22	第2庁舎 共通	非常照明	11年	20年	電池交換 27									更新 110						電池交換 27							
【年別予防保全費用】						87 万円	180 万円	550 万円	0 万円	0 万円	0 万円	0 万円	0 万円	0 万円	245 万円	1,310 万円	571 万円	0 万円	0 万円	180 万円	550 万円	87 万円	0 万円	0 万円	0 万円	0 万円	0 万円	

設備：第2庁舎長期修繕計画：空調換気設備

単位：万円)

評価	写真 NO.	場所	修繕または更新機器	経過年数	推奨更新年数	基準年	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	10年目	11年目	12年目	13年目	14年目	15年目	16年目	17年目	18年目	19年目	20年目	
						2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年	2027年	2028年	2029年	2030年	2031年	2032年	2033年	2034年	2035年	2036年	2037年	2038年	2039年	
空調換気設備	A	空調換気設備-14	第2庁舎1階 707-	ビル冷暖房 室内機	11年	15年																					
	B	空調換気設備-15	第2庁舎1階 707-	換気機器	11年	20年									更新 150												
	A	空調換気設備-16	第2庁舎2階 707-	ビル冷暖房 室内機	11年	15年																					
	B	空調換気設備-17	第2庁舎2階 707-	換気機器	11年	20年										更新 150											

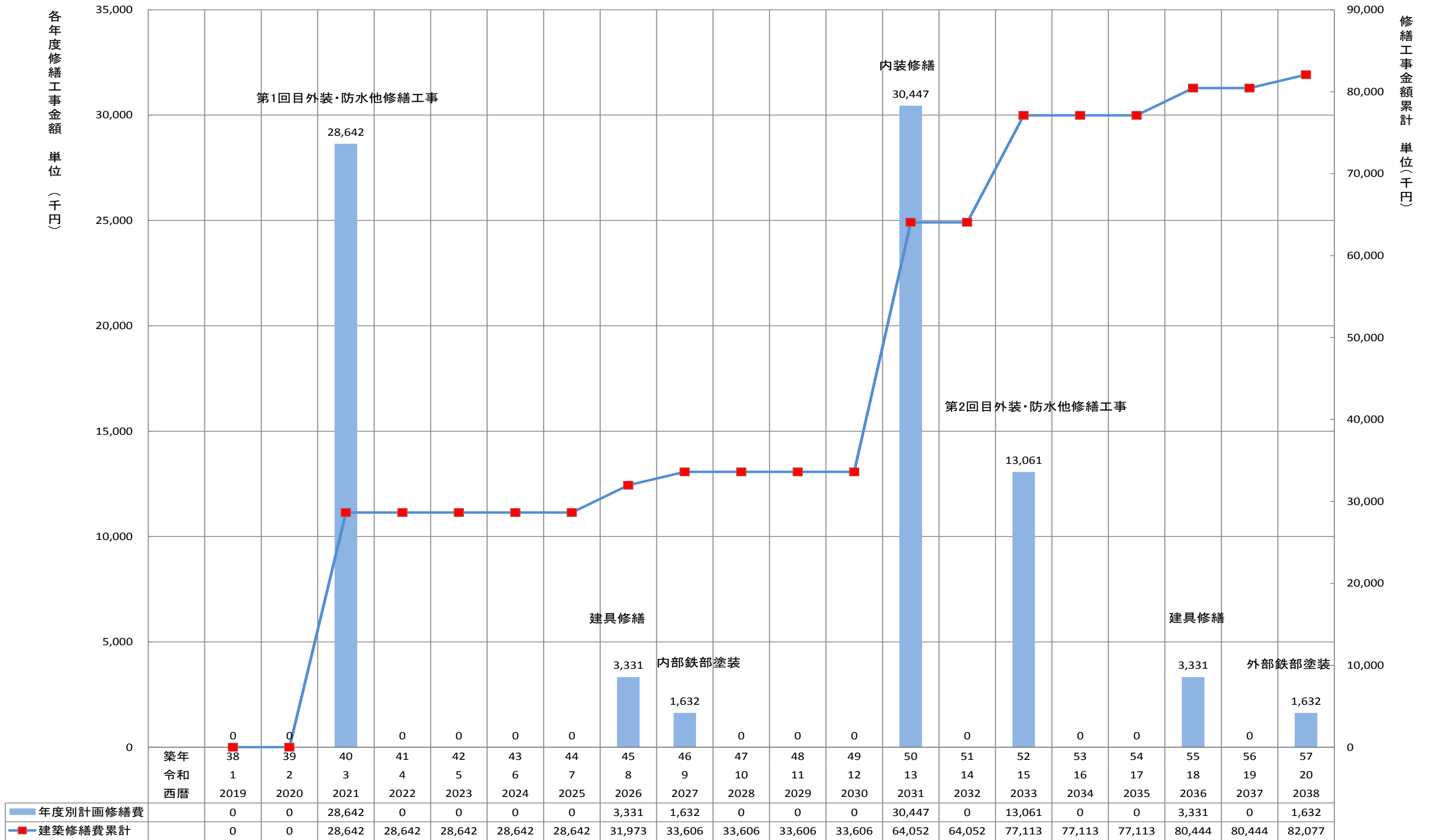
単位：万円)

評価	写真 NO.	場所	修繕または更新機器	経過年数	推奨更新年数	基準年	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	10年目	11年目	12年目	13年目	14年目	15年目	16年目	17年目	18年目	19年目	20年目		
						2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年	2027年	2028年	2029年	2030年	2031年	2032年	2033年	2034年	2035年	2036年	2037年	2038年	2039年		
空調換気設備	A	空調換気設備-18	第2庁舎3階707-	ビル用エアコン 室内機	11年	15年																						
	A	空調換気設備-19	第2庁舎3階議場・空調機械室	ビル用エアコン 室内機	11年	15年																						
	B	空調換気設備-20	第2庁舎3階707-	換気機器	11年	20年												更新 150										
【年別予防保全費用】						0	0	0	0	0	0	0	0	0	150	150	150	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
						万円	万円	万円	万円	万円	万円	万円	万円	万円	万円	万円	万円	万円	万円	万円	万円	万円	万円	万円	万円	万円	万円	万円

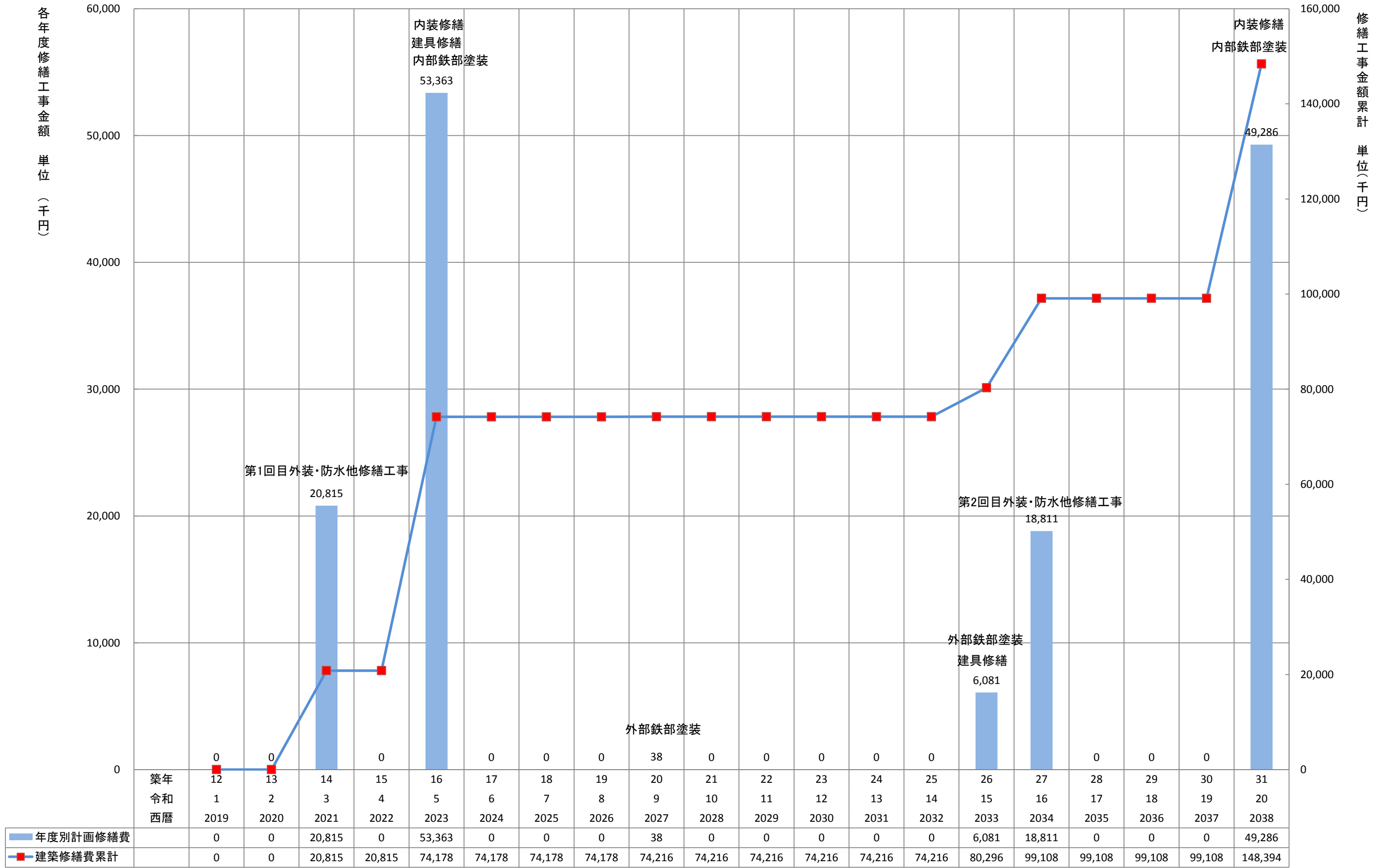
設備：第2庁舎長期修繕計画：給排水衛生設備

単位：万円)

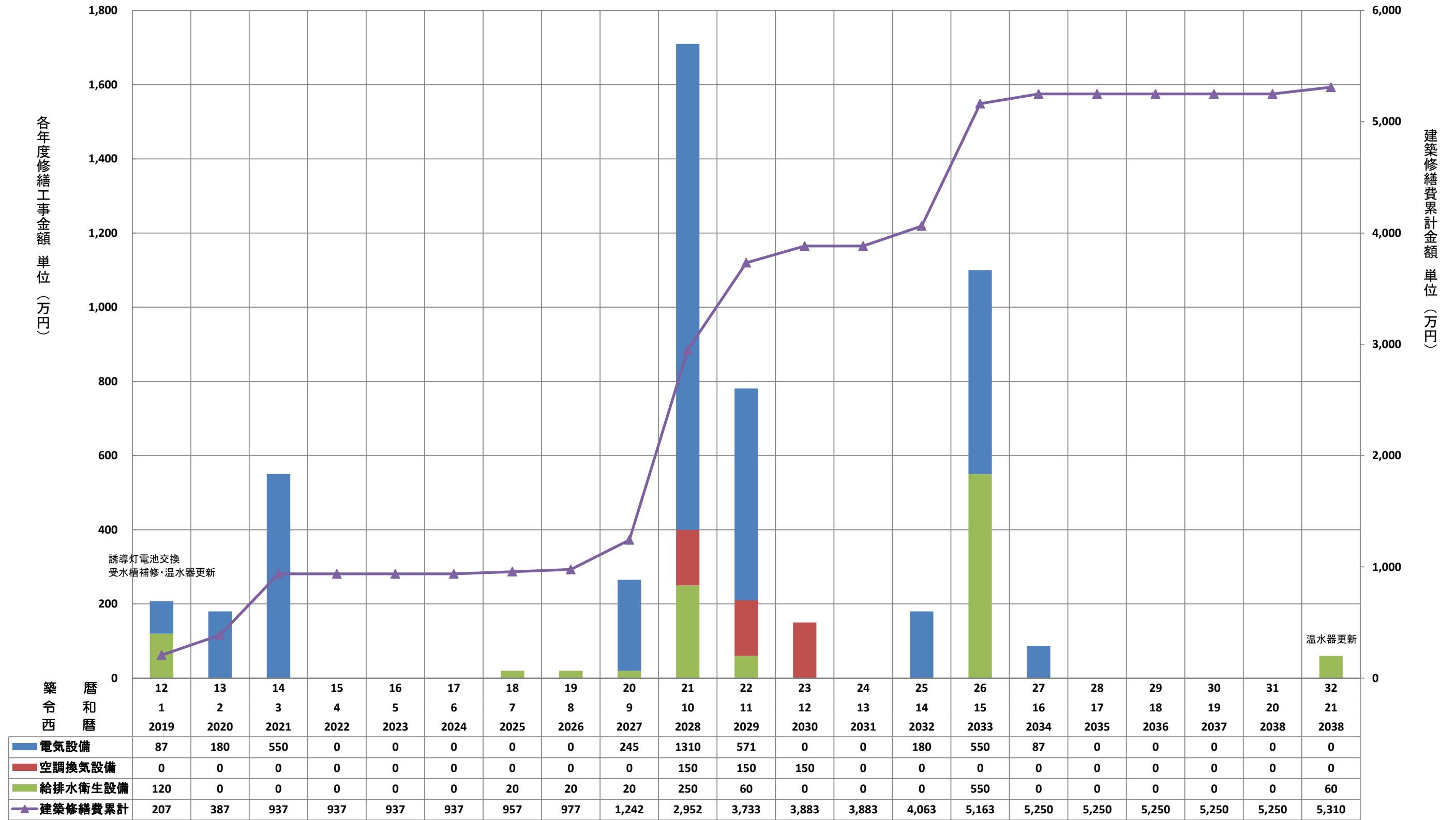
評価	写真 NO.	場所	修繕または更新機器	経過年数	推奨更新年数	基準年	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	10年目	11年目	12年目	13年目	14年目	15年目	16年目	17年目	18年目	19年目	20年目	
						2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年	2027年	2028年	2029年	2030年	2031年	2032年	2033年	2034年	2035年	2036年	2037年	2038年	2039年	
給排水衛生設備	S	給排水衛生設備-1	第2庁舎2階屋外	受水槽 (FRP)	11年	25年	補修 60													更新 550							
	B	給排水衛生設備-2	第2庁舎1階機械室	加圧給水ポンプユニット	11年	20年									更新 80												
	B	給排水衛生設備-3	第2庁舎地下消火ポンプ室	消火ポンプユニット	11年	20年									更新 170												
	B	給排水衛生設備-4	第2庁舎1階便所	衛生器具	11年	30年						部品交換 20															
	A	給排水衛生設備-5	第2庁舎1階湯沸室	水栓・台下電気温水器	11年	10年	更新 20									更新 20										更新 20	
	B	給排水衛生設備-6	第2庁舎2階便所	衛生器具	11年	30年							部品交換 20														
	A	給排水衛生設備-7	第2庁舎2階湯沸室	水栓・台下電気温水器	11年	10年	更新 20									更新 20										更新 20	
	B	給排水衛生設備-8	第2庁舎3階便所	衛生器具	11年	30年									部品交換 20												
	A	給排水衛生設備-9	第2庁舎3階湯沸室	水栓・台下電気温水器	11年	10年	更新 20									更新 20										更新 20	
	B	給排水衛生設備-24	第2庁舎屋外市道3号線歩道	排水桝	11年	20年																					
	B	給排水衛生設備-25	第2庁舎屋外南東通用口	排水桝	11年	20年																					
	B	給排水衛生設備-26	第2庁舎屋外南東通用口	排水桝	11年	20年																					
	B	給排水衛生設備-27	第2庁舎屋外東玄関植込	排水桝	11年	20年																					
	【年別予防保全費用】						120	0	0	0	0	0	20	20	20	250	60	0	0	0	550	0	0	0	0	0	60
						万円	万円	万円	万円	万円	万円	万円	万円	万円	万円	万円	万円	万円	万円	万円	万円	万円	万円	万円	万円	万円	万円



建築：第2庁舎長期修繕計画 費用グラフ



設備：第1庁舎長期修繕計画 費用グラフ



設備：第2庁舎長期修繕計画 費用グラフ

